エアークリーナー消臭装置
CLP型
設置工事説明書

工事をされる方へ

いつも当社製品をご利用頂きまことにありがとうございます。
この機器を正しく安全に使用していただく為に、この「設置工事説明書」をよくお読み頂き正しく工事して下さい。 この「設置工事説明書」に記載されている以外の設置が原因で生じた故障及び損害、人身事故は工事者の責任になります。また、保証期間内でも保証の対象となりませんのでご注意下さい。

1 設置場所の選定

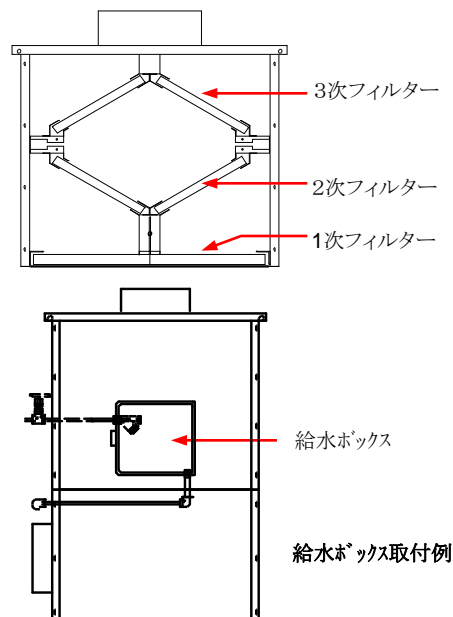
機器を水平に保てる所で、水はけの良い所へ設置して下さい。
地震などによる転倒防止の処置が出来る場所へ設置して下さい。
※ご注意　機器が水平でないと、充分に機能しない場合があります。

2 組立

2．1　別紙、エアークリーナー組立手順に従って、組み立てて下さい。

2．2　フィルターのセット
各フィルターの装着口へ各2枚づつのフィルターを差し込んで下さい。

給水ﾎﾞｯｸｽ取付例

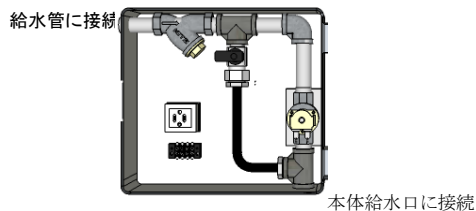
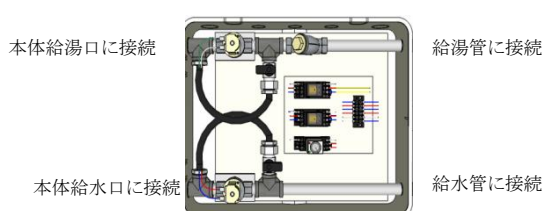
2．3　組立が終わったら、必ず水平器で水平を確認して下さい
2．4　配管・点検に都合のよい場所に給水ﾎﾞｯｸｽを取り付けて下さい。

3 給水配管工事

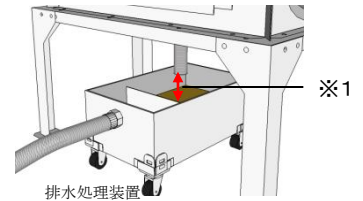
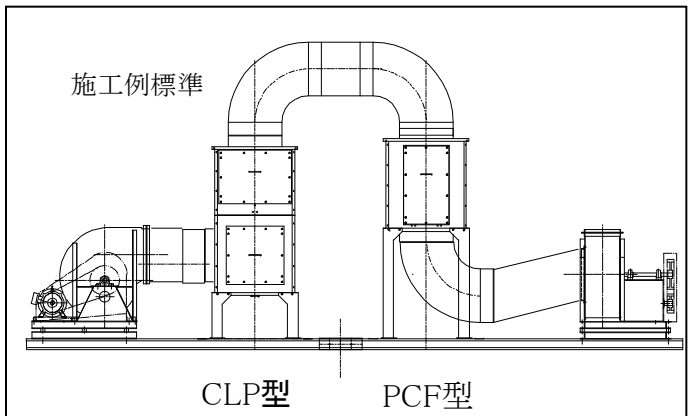
3．1　給水配管工事は水道事業者の指定工事店に依頼して水道事業者の指示に従って下さい。
3．2　配管材料は、必ず関係水道局の承認あるいは検査に合格したものを使用して下さい。
3．3　接続の注意
3．3．1　給水ﾎﾞｯｸｽの中に、電磁弁、止水弁、ｽﾄﾚｰﾅｰ及び　電磁弁の前後にﾊﾞｲﾊﾟｽ管を装着してあります。ｽﾄﾚｰﾅｰの先に付属のﾌﾚｷ管を取付け、給水管に　配管して下さい。
3．3．2　本体給水口と給水ﾎﾞｯｸｽをﾌﾚｷ管で配管して下さい。

＜自動給水制御ボックスの場合＞

給水管に接続
本体給水口に接続

＜自動洗浄給水制御ボックスの場合＞

本体給湯口に接続
給湯管に接続
本体給水口に接続
給水管に接続

3．3．2　保温施工のこと
冬季は寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波による凍結の為配管内の水が凍結し、破損することがありますので、必ず保温処置を施して下さい。
3．4　近くに水栓がない場合、清掃の際に必要となりますので、必ず設置して下さい。

4	**電気工事** ●自動給水制御ﾎﾞｯｸｽの場合は電磁弁はAC　200Vです。送風機起動時に弁開になるように、配線して下さい。 ●自動洗浄給水制御ボックスの場合は、電磁弁はAC　100Ｖです。 適当な場所にｽｲｯﾁを取付け、自動洗浄給水装置取付要領（ボックス蓋に添付）に従って、電源・ｽｲｯﾁ・ﾌｧﾝを配線して下さい。
5	**排水** ● 必ず間接排水として下さい。 ● 排水処理装置に排水ホースを取りつけ、グリストラップへ　排水してください。 ※1　本体からの排水フレキ管は、排水処理装置に接地しないよう空間を開けて下さい。（装置からの排水詰りの原因になります）
6	**ダクト工事** 6．1　本体上部のダクト口をOUTとし、送風機に接続して下さい。 6．2　ｴｱｰｸﾘｰﾅｰ内部は必ず負圧になるように、送風機はダクト末端に接続して下さい。 6．3　吸込み側の前、或いは吹き出し側の後ろに、必ずVD（風量調整用ﾀﾞﾝﾊﾟｰ）を取付けて下さい。 6．4　本体正面、給水口の下のダクト口をINとして、ダクトを接続して室内に配管して下さい。 この時ｴｱｰｸﾘｰﾅｰ本体から室内に汚水が逆流しないように、ダクト口とダクトの間の緩衝材を少し上向きになるようにして下さい。 又は、ｵﾌﾟｼｮﾝﾁｬﾝﾊﾞｰをご利用下さい。 ダクト口径 CLP5－20　Φ250 CLP5－35　Φ400 CLP5－50　Φ500 CLP5－75　Φ550 CLP5－100　Φ600
7	**試運転** 7．1　試運転を始める前に誤配管がないか確認して下さい。 特に処理空気のIN／OUTは、厳守して下さい。 7．2　給水開始から排水が始まるまで（全稼動）は、機種により時間が異なります。必ず排水を確認して下さい。 7．3　通水後、給水元栓を締めて点検口から噴霧口のﾌｨﾙﾀｰを取り外し、ゴミを洗い流した後、再び取付けて点検口を閉めて下さい。
8	**お客さまへの取扱い説明** 8．1　設置工事完了後は取扱説明書に従い、使用上の注意事項、正しい使用方法をお客様に説明して下さい。 8．2　取扱説明書の最後が保証書になっていますので、必要事項を記入の上、お客様に保管をお願いして下さい。

CLIE 株式会社 クリエ

本社：〒432－2102　静岡県浜松市北区都田町7852－17　TEL：053－428－0551　FAX：053－428－0552
工場：〒932－0825　富山県小矢部市島114　TEL：0766－67－4898　FAX：0766－67－4988